

令和3年度 子育て世帯への臨時特別給付金のご案内

令和3年11月19日の閣議決定に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する取り組みの一つとして、臨時・特別の一時金を支給します。

【対象児童】

- ① 令和3年9月分の児童手当(本則給付)支給対象児童 ※特例給付の方は支給対象外です。
- ② 平成15年4月2日～平成18年4月1日の間に生まれた児童(高校生等)
- ③ 9月1日～令和4年3月31日までに生まれた児童
※②または③の場合、主たる生計維持者の所得が下表の限度額と同等未満となっている方が対象。

【給付額】 対象児童1人あたり10万円

【支給方法】

●対象児童①(公務員世帯以外)に該当する方

申請不要。対象世帯にはすでに通知済です。同じ世帯に対象児童②がいる場合、申請不要で同時に支給します。

●対象児童②または対象児童①(公務員世帯)に該当する方

申請必要。1月中に対象世帯へ申請のご案内を通知します。ご確認いただき、3月31日(木)までに必要書類を返信用封筒にて、町民課こども係へ提出してください。

●対象児童③に該当する方

11月までに対象児童③の児童手当の手続きをした方は、対象児童①の支給方法と同じです。12月以降に児童手当の手続きをする方は、申請が必要なため、出生手続きの際にご案内します。

児童手当(本則給付)の所得制限限度額

扶養親族等の数	所得制限限度額(万円)	収入額の目安(万円)
0人	622	833.3
1人	660	875.6
2人	698	917.8
3人	736	960
4人	774	1002
5人	812	1040

※収入額の目安は、給与収入のみで計算していますので、ご注意ください。

ご不明な点等ありましたらお問い合わせください。
申請窓口・問い合わせ先 町民課こども係(32)3114

福祉灯油等購入費支援金のご案内

町では、原油価格の高騰に対する緊急支援策として、支援が必要な世帯に対し、家庭用灯油等暖房費の一部となるよう支援金を支給する「福祉灯油等購入費支援金」事業を実施しています。

【対象世帯】

令和3年11月1日現在、町内に住所を有する在宅者のうち、以下の世帯が対象となります。

① 高齢者	令和4年4月1日時点で65歳以上のすべての方が、住民税所得割を課税されていない世帯
② ひとり親	児童扶養手当を受給している世帯
③ 障がい者	住民税所得割が課税されておらず、次の手帳を交付されている方が属する世帯 ・身体障害者手帳1・2級 ・療育手帳A ・精神障害者保健福祉手帳1級

※生活保護世帯は除きます。

【支給額】 1世帯あたり1万円

【申請について】

対象となる世帯には12月中にお知らせを送付していますので、書類をご確認ください。
対象になると思われるが、お知らせが届いていない場合は以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【申込締め切り】 2月28日(月)必着

問い合わせ先 保健福祉課福祉係(32)6522

令和3年度

「税についての作文」入賞作品

問い合わせ先
税務課住民税係(32)3126

「人々を幸せにする税」

御代田町長賞 御代田中学校1年 堀籠 勇翔

全国納税貯蓄組合連合会ならびに国税庁では、納税について理解を深め関心を持ってもらうため、毎年度中学生を対象に「税についての作文」を募集しています。今年度、佐久地域で応募のあった864点の中から、御代田中学校1年の堀籠勇翔さんが「御代田町長賞を受賞しましたので、その作文を紹介します。」



堀籠 勇翔さんと小園町長

国には、いくつもの種類の税金がある。この税金を納めることで、全く知らない誰かを支えている。また、その人は近所の人や、知り合いかもしれない。

たまに親が、「面倒くさいし、払いたくない」ということを口にしてる。僕たちみたいに中高生にとっては、まだあまり関係のない存在だ。そのため、僕たちは、税金のことをよく知らない人が多いと思う。

普段の生活の中で、最も身近なのは4種類ある。消費税・所得税・住民税・法人税の4つだ。僕は、「なぜ税金なんかがあるのだろう。せつかく親が頑張ってるんだ。お金を国や、町に納めなきゃいけないのだろう」と思った。しかし、親に聞いてみると、僕たちの親が、納めている税金の使われ方は、いろいろとあるらしい。特に身近なのは、道路の工事や、公園を造ったり、というのがある。その他にも、税金は、消防署などによる消火活動や、救急搬送にも使われている。

このことを聞いたらず、最初に思ったのは、「じゃあ、国に税金がなかったらどんなことがおこるのか？」と考えた。これもまた親に聞いた。例えば、税金がなくなったら、火災が起ったとき、お金を払わなくてはいけなくなってしまう。こういうのは、全て、税金でまかなわれているからだ」と、教えてもらった。僕は、そんな話を聞いたことにより、税金の大切さを知った。僕は、この十三年間税金により支えられ、成長してきた。これは、顔も名前も全く見知らぬ誰かが納めた税金に支えられたようなものだ。僕は、税金は、人々をつなげる一つの大切なものだと思う。僕は、税金があつてよかったと、改めて思う。僕は、学校は正直嫌いだけど、今回税金の事を知って、学校で理科の実験や、色々授業をできているのも、税金で教科書を買ったり、机や椅子を買っているからだ。

何度にもなるが、親が、「面倒くさいし、払いたくない」とかいていたら、僕はしっかりと注意したいと思う。僕たちは、税金を身近に感じる機会が、何度もあると思います。僕は、そんな大切な機会を絶対に逃してはいけないと考える。僕たちにとっては、まだ遠い存在だけれども、税金を通じて自分や親も知らない人・近所の人に幸せを届けている。僕は、そんな税金の事を、できるだけ忘れないようにしようと思う。